

社会科が大好きなみなさんへ

「トビウをあけるときはノックをしよう！」

世の中には、古今東西いろいろな扉があります。みなさんの自宅にもいくつもの扉があると思います。扉は私たちが今立っている空間とは別の場所に連れて行ってくれます。また、扉には見える扉と、見えない扉があります。玄関や部屋の扉は見える扉ですが、国と国との間、ヒトとヒトの間にも、実は見えない扉があるのです。もし、あなたの部屋や心に、知らない人が、なにも言わず、土足でズカズカと入ってきたとしたら、ちょっと嫌ですよね。ですが、もしかすると自分もそんなことをこれから誰かにしてしまうかもしれません。社会科はこの見えない扉をあけるためのヒントを地理や歴史、公民を通じて学ぶ教科です。

扉をあけるときにノックをするのは、まだ見ぬ相手に自分を知らせるための合図であり、もう、相手と会う準備ができていているという証です。自分の中で相手と会う準備ができていなかったらきっと最悪な出会いとなってしまうかもしれません。ですが、ちゃんと自分の中で準備ができていたなら、そこには最高の出会いが待っていることでしょう。

見える扉も、見えない扉も、ちゃんと準備をしてからノックをしましょう！きっといい出会いが待っているはずですよ。

剣道部のみんなへ

『剣道の理念』

「剣道は、剣の理法の修錬による、人間形成の道である。」

稽古、練習試合、大会の中止…。部活動ができない中で何かできることはないだろうか。自分が中学生のとき、この剣道の理念を覚えさせられました。だけどそれが今、自分が剣道をする上でとても役に立っています。つまり、自分勝手にするのではなく、あくまで理法（規則）にそって練習をすべきであるということです。どんな練習もただ回数をこなすだけでは上達はしません。基礎・基本をおさえながら、自ら考え修正し、意識をしながら繰り返し実践していくことが必要です。もし、途中で投げ出したくなったら、今までの悔しい思い出や、掲げた目標をエネルギーにして、また前に進みましょう！